



セネガル国月報

2015年2月

在セネガル日本国大使館



主な出来事

内政

- 2日、ワッド前大統領は野党連合「共和国防衛愛国戦線(FPDR)」の会合において、サル大統領が集会等を許可しないことにつき「独裁的」とであると非難するとともに、「Fipou(ウォロフ語で「反逆」の意)」というスローガンを掲げてこれに対抗することを呼びかけた。
- 11日、FPDRは、同連合が10日付けでオバマ米大統領及びオランド仏大統領に書簡を送り、両大統領が財の不正取得抑制のための監査院(CREI)に関する意見を述べることを要請した旨発表した。

外政

- 9日から12日にかけて、アフリカ米陸軍の支援の下、第3回アフリカ陸軍統合参謀総長会議が開催された。

経済

- 2日、国家コメ自給計画(PNAR)にかかる大統領評議会に出席したサル大統領は、コメの自給達成のためにトラクター450台の導入、販売促進費用80億Fcfの投入などの施策を発表した。
- ジェンSENELEC総裁は、2015年12月までに最大94メガワットの余剰発電量が見込まれており、年内の電力供給は十分なものとなるとの見通しを発表した。

内政

1 与野党の対立

(当館注: 1月末より野党陣営はたびたび反与党集会等を計画してきたが、政府当局はこれを許可せず、治安部隊との衝突等が発生していた。)

- 2日、サル大統領はワッド前大統領以下野党陣営に対し、政治と司法の分立を強調しつつも、対話に応じる準備がある旨述べた(3日 Temoin, Soleil)。
- 2日、ワッド前大統領は野党連合「共和国防衛愛国戦線(FPDR)」の会合において、サル大統領が集会等を許可しないことにつき「独裁的」とであると非難するとともに、「Fipou(ウォロフ語で「反逆」の意)」というスローガンを掲げてこれに対抗することを呼びかけた(3日 Populaire)。
- 4日、治安当局から集会の許可が得られたことを受け、ダカール市内オベリスク広場においてFPDRが集会を開催した。出席したワッド前大統領は、政府に対しアンリ・グレゴワール・ジョップ財の不正取得抑制のための監査院(CREI)裁判長の罷免、前政権による汚職への関与を疑われている関係者の国外移動禁止の取り消し及び現在拘禁中の関係者の釈放を要求した(5日 Soleil)。

2 前政権の不正追及

- 11 日, FPDR は, 同連合が 10 日付けでオバマ米大統領及びオランダ仏大統領に書簡を送り, CREI の正当性を検証する法律家 2 名をセネガルに派遣すること, また, 両大統領が CREI に関する意見を述べることを要請した旨発表した(12 日 Quotidien)。
- 14 日, ワッド前大統領はルブス刑務所に収監中のカリム・ワッド元大臣を訪問した。同前大統領による訪問は, 2013 年 4 月に同元大臣が収監されて以来初めて(16 日 Sud Quotidien)。

3 与党の動き

- 7 日, 社会党(PS)執行委員会が開催され, ジェン同党首はアイサタ・タル・サル同スポークスマン(ポドール市長)を解任し, 後任にアブドゥライ・ウィラン・カフリン市長を任命した。また, 同党首は同党ナンバー2としてアミナタ・ンベンゲ・ンジャイ畜産大臣を任命した(9 日 Sud Quotidien)。
- 9 日, 与党共和国同盟(APR)執行部会において, サル大統領はトゥーレ元首相を国内及び対外政策にかかる大統領特使に任命した。同じくサル大統領実弟のアリユール・サル・ゲジャワイ市長(セネガル市長会会長)及びアブドゥライ・ジュフ・サール観光・航空運輸相(ダカール市ヨフ区長)らが APR 執行部会のメンバーとなった(10 日 APS)。
- 13 日, ダカール市内で与党「希望のための結束(BBY)」連合のセミナーが開催され, サル大統領, ムスタファ・ニヤス「進歩のための同盟(AFP)」党首, タノール・ジェン社会党党首らが出席した。サル大統領は, 同連合の強化を通じて政治・経済の安定化を図ることを訴えた(16 日 Soleil)。

4 その他

- 1月 30 日, コルダ州ヴェリンガラ市において, 地元スンニ派及びシーア派の対立から, ヴェリンガラ県知事は同市ウェスト 2 地区に位置するモスクの閉鎖を命令した(3 日 Quotidien)。
- 2 日, 数年前にガンビアで発生したクーデター未遂以来セネガルに亡命していたアブドゥライ・タンバ元バンジュール市長がピキン市ンバオ区の自宅で死亡した。セネガル当局は死因を調査するための司法解剖を実施する予定(5 日 Temoin)。
- 6 日, 国家不正・汚職防止局(OFNAC)2015 年-2017 年行動戦略策定のためのワークショップに出席したンゴム同局長によると, 2012 年の創設以来, 同局には 130 件の不正に関する告発が寄せられている(6 日 Sud Quotidien)。
- 19 日から 20 日にかけて, サル大統領はジガンシヨール市を訪問し, 20 日, ジガンシヨール平和病院の落成式に出席した。同大統領によるカザマンス訪問は就任以来 3 回目(21 日 Quotidien)。

外政

1 治安及び安全保障

- 9日から12日にかけて、アフリカ米陸軍の支援の下、第3回アフリカ陸軍統合参謀総長会議が開催された。同会議が仏語圏アフリカで開催されたのは初めて。9日の開会式にはティン国防相、マドゥ・ソウ国軍統合参謀総長、ツムワルト米大使をはじめ、アフリカ35か国の軍関係者が出席した。同統合参謀総長は、今後米国をパートナーとし、セネガル陸軍と他アフリカ諸国の陸軍の間に交流の枠組みをつくることが目指される旨述べた(10日 Quotidien)。
- 10日、セネガル及び仏の間でテロ及び越境型犯罪に関する「対テロ行動計画(PACT)第3アジェンダ」策定のための会合が開催され、ジャロ内相及びパガノン仏大使が出席した(11日 Quotidien)。
- 10日、ファイ国家警察長官は、キダル及びガオ(マリ)において国連マリ多元統合安定化ミッションに派遣されているセネガル警察隊を訪問した(11日 gfm)。
- 13日、サル大統領は、UEMOA圏における平和と安全保障のプラットフォーム創設にかかるハイレベル委員会委員長として、ダカールで開催されたUEMOA平和と安全保障戦略プログラムの認証式に出席した。同大統領は、UEMOAが紛争の予防及び警報メカニズムを備えるため、常設の委員会を設置する必要性を訴えた(13日 APS)。

2 その他

- 2日、ンジャイ外相及びアル・サラール・クウェート副首相の出席のもと、セネガル・クウェート合同委員会が閉会した。同委員会においては、ダカール市プランシパル病院の改修、各地の道路整備、若者の雇用等に関し、2,160億 Fcfaのクウェートによる対セネガル支援が発表された(3日 Soleil)。
- 6日、訪仏中のサル大統領は、オランド仏大統領、ボンゴ・ガボン大統領、ウワタラ・コートジボワール大統領らと「共通の成長のための仏・アフリカ・フォーラム」に出席した。サル大統領は、国際財政ガバナンスの柔軟化、若者の職業訓練の重視、アフリカにおける投資等のリスクの低減、公共市場手続きの簡略化などが成長の鍵を握る旨述べた(7・8日 Soleil)。

経済

1 農業

- 2日、国家コメ自給計画(PNAR)にかかる大統領評議会に出席したサル大統領は、コメの自給達成のためにトラクター450台の導入、販売促進費用80億 Fcfaの投入、宗教行事、対外食料支援、軍・警察等の食用に国産米を使用するなどの施策を発表した(3日 Observateur)。
- 7日、ジュフ農業省園芸農業部長は、15日から4か月間ジャガイモの輸入を禁止する旨発表した(7日 APS)。
- セネガル川流域整備開発公社(SAED)は、2014年のコメの収量は過去5年間と比較して33%増の43万トンであった旨発表した(3月5日 APS)。

2 電力

- 6日, SENELEC と印電力会社 Jindal steel & power は, Jindal 社がカヤールに建設予定の火力発電所(350メガワット)からの買電契約に署名を行った(7・8日 Soleil)。
- ジェン SENELEC 総裁は, 2015年12月までに最大94メガワットの余剰発電量が見込まれており, 年内の電力供給は十分なものとなるとの見通しを発表した(7・8日 Sud Quotidien)。

3 運輸

- 3日, ダカール・米マイアミ間を航空便及び船舶便で結ぶ「ダカール・マイアミ・ゲートウェイ計画」にかかる米投資調査団がセネガルに到着した(4日 Temoin)。

4 金融

- 国際調査ジャーナリスト連合(ICIJ), 仏ル・モンド紙等の発表によると, 英銀行 HSBC スイス支店に口座を所有しているセネガル人は実業家, 有名企業社長など310名(うち180名がレバノン及びシリア系)で, 預金総額は942億5,000万 Fcfa に上る(10日 Quotidien)。

(注)「セネガル月報」は, セネガルの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は, 日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが, 当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

(了)